

発言通告書（総括表）

令和7年第2回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
1	田中議員 (国 民)	◇ One in, One outルール の本区における適用について ◇ 区民の防災意識の啓発を促 す防災ギフトカタログ等を活 用した自助の取り組みへの支援	One in, One out（一増一減）、One in, Two out（一増二減）など、新規事務事業の導 入に際し、旧事業を見直し、行政コストを増加させないためのルールの導入について 「最高水準の災害対策、世界一安全安心なまち」の推進にあたり、在宅避難を推奨する本区 における区民の自助の取り組みへのサポートのため、先駆的事例を踏まえたギフトカタログ などの活用について	区 長 関 係 理 事 者
2	牛尾議員 (共産党)	物価高騰からくらし・福祉を 守り抜く政治のために 神田警察通り道路整備につ いて	① 消費税減税こそ最も効果的な物価高騰対策だと思うが区長の見解は。 ② 物価高騰に見合う賃上げを国や都に求め、区としても独自の施策を。 ③ 国の福祉切り捨てから医療や介護など福祉を守る防波堤の役割を。 ④ 住み続けられる千代田区のために。 ① 住民参加について。 ② 住民の合意形成について。 ③ 道路整備を進めるためにも柔軟な対応を。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
3	ふかみ議員 (次世代)	デジタル技術を活用した地域 共生型コミュニティの構築に ついて ① AI ブロードリスニング活用 による、マンション単位で の窓口設置について ②シニア自立生活支援につ いて ③地域課題を共に解決する参 画型スタートアップ支援の 仕組みについて 情報リテラシーについて	一人暮らしやマンション居住者の多い千代田区において、AI による対話分析で生活動線上 の声を収集し、接点の少ない層のニーズを可視化する。マンションにおける意見収集の仕組 みについて、区の見解を問う 高まる在宅介護ニーズに対応し、IoT 等を活用した地域の相互扶助を促進する。人手不足対 策や補助制度の活用を含め、在宅支援ネットワークとの連携について、区の見解を問う 住民や民間の知見・つながりを活かし、行政がデータ活用の仕組みを提供し、地域課題を共 に解決する。共助と持続可能な地域経済を目指し、行政・民間・地域が連携する支援モデル について、区のを問う。 インターネット上には様々なフェイクニュースや偽情報が溢れており、区民の情報への接 し方がますます重要となる中、情報リテラシーにかかる区の見解と取り組みを問う。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和7年第2回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
4	池田議員 (自民党)	・まちの環境美化について ・食品ロス削減全国大会開催に向けて	・放置自転車対策、駐輪場の設置、撤去作業等について現状と課題 ・喫煙対策、公衆喫煙所設置の目標値の見直し、通学路周辺の喫煙所対策について現状と課題 ・事業系、一般家庭ごみ、資源ごみについて、車歩道にかかる場所への出し方の課題、ごみ出しルールの徹底に向けた条例化の検討状況 ・10月開催に向けての準備期間、昨年度開催したフォーラムを振り返り、東京都で初めてとなる全国大会で千代田区の特性をどう活かすのか ・食品ロス削減推進計画が策定されてからも全庁的な連携が課題となっているが進捗状況は	区 長 関 係 理 事 者
5	永田議員 (自 民)	危機管理体制と自衛隊の連携について	自治体は有事を想定した組織ではないので危機管理は防災計画や訓練を実施することが目的となりかねない。このような、通常業務の延長では災害など危機的状況への対応は不十分になってしまう。現状維持の組織体質を変えるためにも、防災官として専門の訓練を受けた退職自衛官を数名採用し、有事への対応を強化するべきではないか。区の見解を問う。	関 係 理 事 者
6	富山議員 (自 民)	・障害への合理的調整（配慮）、相互理解の促進 ・医療と福祉の連携	現在の区の取り組みについて伺う。 電話リレーサービスについて伺う。 パラスポーツの認識、デフリンピックについて今後の予定を伺う。 超高齢社会と認知症についての認識、現状のフレイル対策と今後の展望、『近代医学の父』杉田玄白と千代田区の関係、今後の連携可能性について伺う。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
7	西岡議員 (自民党)	国際理解とデジタル人材育成の推進について ①九段中等教育学校のシリコンバレー研修等、先進的取り組みの区内展開の可能性について	○世界的 IT 企業との交流やシリコンバレー派遣を通じた先進的な学びや、国際的視野とデジタルスキルを育む教育機会を、九段中等教育学校にとどめず、区内の他の中学校・小学校にも拡充する事で、区全体の教育水準向上を目指すべき。 区の見解を問う。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和7年第2回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
7	西岡議員 (自民党)	②区民向けのデジタル体験・研修 機会の創出について	○区民向けの先進技術体験プログラムを導入し、区民が先進地での体験を通じてデジタル社会への理解を深め、地域に還元できる仕組みづくりや地域全体のデジタル対応力を高める施策について、区への取り組みや方針を問う。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
8	はやお議員 (自民党)	1. 組織的関与、特に上司の指示 の有無について 2. 官製談合の常態化と期間に ついて	今般の千代田区における官製談合事件は、区政の公正性、透明性に対する区民の信頼を著しく損ねるものであり、その再発防止は喫緊の課題である。千代田区が公表した「千代田区入札不正行為等再発防止検討報告書」と、その後の報道及び関係者の供述調書の内容を比較検証する中で、いくつかの重大な相違点と疑問が浮上している。 ・「再発防止検討報告書」では、当時の副区長の具体的関与は確認できなかったと結論づけられている。 ・しかしながら、前副区長自身の供述調書によれば、同氏が元職員に対し、元区議からの契約に関する問い合わせに対応するよう指示していたことが明確にされている。 ・この指示は、結果として入札情報の漏洩を招いた可能性が指摘されており、報道でも「副区長が主導した組織ぐるみ」と報じられた。 ①区長は、この前副区長の供述内容をどのように認識しているのか。 ②また、「再発防止検討報告書」の結論と、この供述内容との矛盾について、区としてどのような説明責任を果たすのか。 ③今回の事件が、特定の職員個人の問題に留まらず、組織的な関与、特に上層部の指示・黙認があった可能性について、区として徹底した再検証を行うべきと考えるが、区長の見解を問う。 ・「再発防止検討報告書」は、今回の事件を2024年の逮捕を起点として検証している。 ・一方、元区議の供述調書の内容を報じる記事によれば、同氏が「遅くとも2014年ごろから」入札情報を業者に漏らしていたとされており、今回の事件よりも約10年も前から同様の行為が行われていた可能性が指摘されている。 ・もしこれが事実であれば、今回の事件は単発的なものではなく、長年にわたる官製談合が常態化していたことになる。	区 長 副 区 長

発言通告書（総括表）

令和7年第2回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
8	はやお議員 （自民党）		④区として、この長期にわたる不正行為の実態について、過去に遡って徹底的な調査を行うべきと考えるが、区長の見解を問う。 ⑤また、長年の不正を見過ごしてきた組織の責任と、その再発防止に向けた具体的な対策について、どのように考えているのか。	区 長 副 区 長
9	入山議員 （次世代）	区道の道路環境整備 区の暫定活用財産について 地域コミュニティと祭礼文化について	・経年劣化による区道の維持と環境美化の管理について何う ・今後の神田警察通りなどの道路整備について何う ・現在、暫定活用している学校跡地などの大規模な区有地について、今後の活用の方向性や見通しを何う ・町会や地域コミュニティ交流の中心となり活性化に繋がる祭礼文化の継承の支援について見解を何う	区 長 関 係 理 事 者
10	米田議員 （公 明）	重点支援地方交付金について 小中学校におけるネイティブ人材の活用について	政府は5月27日の閣議で、電気・ガス料金やLPガス料金への支援などに今年度予算の予備費から合わせて3880億円を支出することを決めた。また地域の実情に応じて使える「重点支援地方交付金」の拡充に1000億円を支出する。 ・本区の収入見込み額は。 ・実施計画の第一回目の締め切りは6月30日、第二回目は10月30日となっている。本区の活用方針は。 英語を学び始める小中学校段階は、学びの基礎を固めるとともに、英語が使える経験が後の学習への意欲にもつながる重要な時期であることから、小中学校での英語教育を強化する必要があると考える。 ・本区の小中学校における英語指導体制と学習成果の現状把握について、どのように分析・評価しているか。 ・オンラインによる外国人講師によるマンツーマン英会話レッスンの授業について	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和7年第2回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
10	米田議員 (公 明)	障がい児の登下校支援について	・近年、肢体不自由や医療的ケア児も、支援員の配置等により知的に問題がなければ通常級へ通学できる。肢体不自由に関しては、特別支援学級に通うか通常級に通うかに関わらず、移動困難が重要な問題の一つとなっている。特別支援学級へ通う児童に対する支援と同様、通常級へ通う障がい児に対する支援も必要では。	区 教 育 長 関 係 理 事 者
11	桜井議員 (自 民)	○災害対策 防災ポータルサイト、 防災アプリ について ○地域の防災リーダーの育成 について	○災害時の様々な課題を1つにまとめた念願の千代田区防災ポータルサイト、防災アプリが完成した。 それぞれに膨大な情報がリンクされているが区民の皆さまにとって使いやすいものになっているだろうか。 ○区民への周知はパンフレットを配るだけで終わらせてはいけない。 ○丁寧に使え方とポータルサイトやアプリによって何が得られるのかを区民の皆様を知っていただく事が大切。 災害が起きる前に知っておきたいこと。 災害が起きた時に迅速正確に活用すること について ○千代田区内の主要道路、交差点、千代田区内の避難場所、JR やメトロの主要駅など、これらのライブ映像がリアルタイムで配信されることはできないか。 災害対策本部での活用も考えてみてはどうか。 ○地域に防災リーダーを育てることは今後の災害対策を考える上で極めて大切な事。 ○やる気のある中学生や高校生にも門戸を広げることを考えてみてはどうか。 ○失敗を恐れずチャレンジできる仕組み作りとは何か	区 教 育 長 関 係 理 事 者
12	のざわ議員 (維 新)	1. 日本の人口減少状況下でも 千代田区民一人当たりの行政サービス向上を実現するための、行政のロボット化について自動運転実現からの質問	(1)千代田区都市計画マスタープランに鑑み自動運転先端技術は3点、巡回警備、道路清掃、人と物の移動がある。千代田区はこの3点を組織的に統合利用するべきではないか？ (2)①(1)の自動運転のサービスに留まらず、様々なデータを収集。巡回警備、道路清掃、人と物の移動に関わる分野が違う、一見関係のないデータを統合、交換、関連させて、より利用価値の高いデータ連携にし、自動運転遠隔監視・支援室(データー・センター)に集約し活用する仕組みが必要だと思いますがいかが？	区 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和7年第2回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
12	のざわ議員 (維 新)	2. 落雷対策 3. 桜の老木の植え替え	②国土交通省管轄の国道は「自動運転支援システム(道路インフラによる支援＝交差点における道路交通状況を検知し、自動運転車や遠隔監視室に情報提供する路車協調システム)」と連携しているが、都・区道に就いても、路車間通信システム等を国に準じて整備すべきでは？ (3)地上走行が困難な災害時の情報収集について、区はNTT 東日本の協力を得て、ドローンを活用した災害時の道路通行可否等の調査手法の検証を実施しているが、国においても「ドローン自律飛行システムの震災時被災状況把握手段としての活用の可能性について」によって、災害時のドローンの有効性が報告されている。これらの報告によれば、災害時の道路状況等の把握に有効だと考えますが、区がドローン等新技術を本格活用する実現可能性は？ (4)①千代田区内大学と千代田区の連携協力は、区内大学と区が個別に行っているが区内大学のうち6大学が自動運転連携を研究している。自動運転をテーマに、区内大学を統一的連携して自動運転スキルを活用した研究課題の分担および自動運転分野における、教育・研究の向上、人材育成、政策立案など、多様な連携が想定でき、両者が進める取組みの相互発展をしては？ ②防災、データサイエンス分野、等々様々なテーマについて、区内大学を統一的連携してテーマ毎のスキルを活用した課題対応およびテーマ分野における教育・研究の向上、人材育成、政策立案など、多様な連携が想定でき、両者が進める取組みの相互発展をしては？ (1)教育現場における落雷対策 (2)公園や公共施設における落雷対策 (3)情報システムに対する落雷被害とその対策 (1)千代田区のさくらまつりのさくらの名所を巡る、4つのモデルルートの桜の木の見える化と、老木の植え替え。まず、千鳥ヶ淵緑道からは？	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
13	小枝議員 (声)	1、公益通報者保護に関する区長の認識を問う	・6月3日樋口区長から、内部告発を行った元職員に対し退職手当返納命令が出された。公益通報者保護の観点、懲戒権濫用の疑義の指摘をどのように受け止めるのか。告発者への制裁の側面があり、ひいては公益通報を抑止する効果を生む意図が問われる、ほか。	区 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和7年第2回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
13	小枝議員 (声)	2、官製談合事件の背景に、二元代表制への無理解があったこと等 3、神田警察通りについての振り返りと問題が起こった時の対応について	現在も、無理解のままか、副区長の認識を問う。 ・確定記録の閲覧の結果、元副区長の供述によると、平成27年頃は、二元代表制がわずかに機能していた。そのことが以降の談合と二元代表制の低下をうみ、犯罪の温床となったことが読み取れた。認識を改める必要があるのではないか。 ・再発防止検討委員会は、事件の当事者および関係者がトップとなって会を率いている。利害関係のない第三者委員会によって確定記録を閲覧し報告書を修正、再発防止と信頼回復を確かなものにすべきではないか、ほか。 住民側が求めている対話に寄り添うことなく、最後の1本が伐採された。区民に損害賠償を求めるというような趣旨の発言もされているが、区民の理解を得られずに進めてしまったプロセスや、移植でも良いという意向を無視して伐採した千代田区のやり方は禍根を残す。区民と正面から向き合おうとしない千代田区の姿勢を問う。	区 長 関 係 理 事 者
14	岩田議員 (次世代)	2024年に発覚した千代田区の官製談合事件とその周辺問題について 福島原発事故の放射能によって汚染された土を首相官邸の敷地内で再利用することについて	官製談合事件において上司からの指示命令があったのかどうか。あったとするならば組織的な犯罪ではないのか。ある新聞報道で引き続き千代田区の官製談合事件について報道されているが、千代田区としてどのように受け止めているのか等を問う。 東北地方太平洋沖地震で発生してしまった福島原発事故によって、大量の放射能汚染土が生まれてしまった。それを除染したとはいえ、千代田区内にある首相官邸の植え込みなどの土として使用する案が有力視されているとの報道があるが、区はどの程度情報をつかみ理解しているのか。当該首相官邸は国会議事堂も近く、国会議事堂は小学生をはじめ多くの見学者が訪れる所である。千代田区として、今後の対策など何かあるのか等を問う。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者